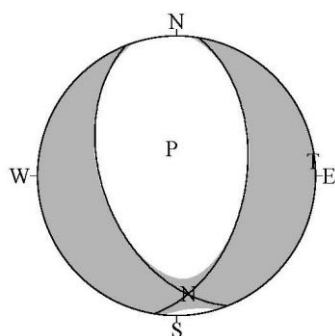


1月7日 チベット自治区（中国）の地震 (W-phase を用いた発震機構解析)

W-phase による解

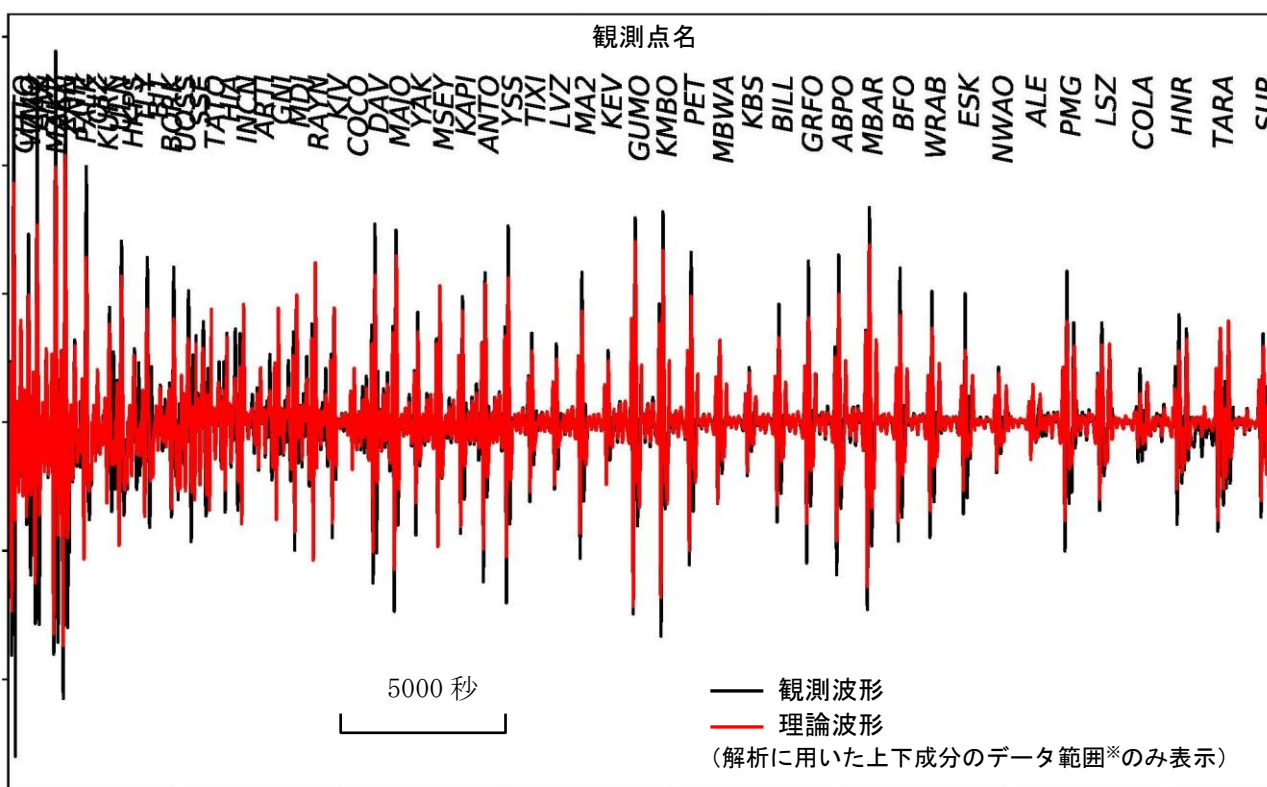


2025年1月7日10時05分（日本時間）にチベット自治区（中国）で発生した地震について W-phase を用いた発震機構解析を行った。発震機構、Mw とも、他機関の解析結果とほぼ同様であり、Mw は 7.1 であった。なお、W-phase の解析で求めた震源は北緯 28.6°、東経 87.2°、深さ 14km となった。

W-phase の解析では、震央距離 10° ～90° までの 57 観測点の上下成分、60 観測点の水平成分を用い、100～300 秒のフィルターを使用した。

注）W-phase とは P 波から S 波付近までの長周期の実体波を指す。

Mw	M ₀	断層面解 1 (走向／傾斜／すべり角)	断層面解 2 (走向／傾斜／すべり角)
7.1	4.96×10 ¹⁹ Nm	158.7° / 45.9° / -112.2°	9.0° / 48.3° / -68.7°



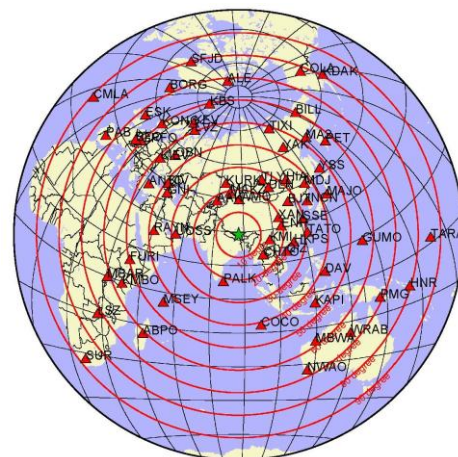
※解析に用いたデータの範囲は 15 秒×震央距離（度）としており、各々の観測点の解析区間のみを繋げた波形を表示している。

(W-phase に関する参考文献)

Kanamori, H and L. Rivera, 2008, Geophys. J. Int., **175**, 222-238.

解析データには、米国大学間地震学研究連合（IRIS）のデータ管理センター（DMC）より取得した広帯域地震波形記録を使用した。

また、解析には金森博士及び Rivera 博士に頂いたプログラムを使用した。記して感謝する。



解析に使用した観測点配置

気象庁作成